

WEEKLY REPORT

東京ベイロータリークラブ

TOKYO BAY ROTARY CLUB

国際ロータリー 第2580地区 東分区
VOL.33 NO.6 第1437回 2023年9月7日



Create Hope in the World
RI会長 ゴードン R. マッキナリー
(スコットランド、ウェストロージアン)

世界に希望を生み出そう

ロータリアンの心に 火をつけよう

第2580地区ガバナー 栃木一夫(東京北RC)

“本当に人の為を想った行動を取っていますか?”
クラブ会長 金子高一郎

本日のプログラム

青少年奉仕フォーラム

次回以降のプログラム

14日 休会

21日 卓話「マイヒストリア」
岡村利之ガバナー補佐

2023年8月29日
第1436回 例会報告

会員数 出席 出席率 前々回訂正出席率
15人 13名 86.66% 8月17日 休会

「進水式見学」(墨田川造船(株):石渡会員事業所)

■ビジター

国際ロータリー第2580地区 ガバナー 栃木 一夫君(東京北RC)
国際ロータリー第2580地区 東分区 ガバナー補佐 岡村 利之君(東京東江戸川RC)
パストガバナー 嶋村 文男君(東京東江戸川RC)
ガバナー会事務局長 金澤 洋君(東京新橋RC)
ガバナー会事務局 新田 洋子君/東京東RC:橋本 更君
東京江東RC:小野 綾子君・大澤 栄一君・小嶋 映治君
東京向島RC:古川 勝博君・大谷 浩一郎君・小林 康德君・
今井 達君・樋口 敏郎君
東京城東RC:篠田 秀樹君・丸山 智正君・池永 憲明君
東京シティ日本橋:海老原 裕君
東京新都心RC:内川 晃一君



移動夜間例会の様子は裏面に続きます。

■ 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

■ 例会場 〒103-8520 東京都中央区日本橋蠣殻町2-1-1

ロイヤルパークホテル TEL 03-3667-1111・FAX03-3667-1615

■ 事務局 〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-1-5 Aビル6F

TEL 03-5637-4608 ・ FAX 03-5637-4611

E-mail tokyobay@club.email.ne.jp

■ 役員/

会長 金子高一郎

会長エレクト 三宅 郁子

幹事 水谷 文彦

副幹事 石渡 秀雄



会報委員長 林 茂男

「夜間移動例会」(東京イーストサイドホテル権会)



東京向島RC 今井達様、東京城東RC 篠田秀樹様よりニコニコを頂戴いたしました。

2023年9月のメッセージ

2023-24年度RI会長 ゴードン R. マッキナリー

9月21日は「国際平和デー」です。国連総会はこの日を、24時間の非暴力と停戦を実践することで平和の理念に捧げる日と宣言しました。

しかし、行動人である私たちにとって、戦争を回避するだけでは十分ではありません。世界に希望を生み出すには、積極的に平和を訴えていかなければなりません。では、どこから始めたらよいのでしょうか？世界では数え切れないほどの武力紛争が発生しており、世界の避難民人口はかつてないほど増加しています。支援の機会は無数にありますが、暴力と苦難の連鎖も終わりがないように見えます。

私からのアドバイスは、大きく考えながら小さく始めることです。パキスタンとインドのロータリー会員がインスピレーションを与えてくれます。

2020年3月、パキスタンとインドからそれぞれ約50名のロータリー会員が、パキスタンにある寺院カータープール・サビブで会合しました。この聖域は、両国で信仰されている宗教であるシク教の創始者、グル・ナーナクを称えています。2カ国間の緊張により、インドからの多くの宗教巡礼者がこの寺院を訪れることができずしてました。しかし、パキスタンは2019年、ビザ不要の回廊を開通させました。今年初め、国境の反対側にいるロータリー会員が再度ここで再会しましたが、今回の参加者数は約2倍となりました。

平和を築く取り組みには、勇気と大胆さが必要です。これらのロータリー会員が行ったのはまさにこれです。パキスタン政府は、インド人巡礼者をカータープール・サビブ寺院に招くことで、平和に向けて重要な一歩を踏み出しましたが、パキスタンのロータリー会員も、インドからのロータリー会員を友人や家族として歓迎し、次の一歩を踏み出しました。これこそ、積極的平和の実践です。

これらの平和構築者たちはここで満足したわけではありません。今年の集まりでは、クラブの代表者が、お互いの国について学び合うための長期的なコミットメントを示すため、双子クラブの認定証に署名し、さらなる平和構築活動のために協力していく決意を示し、ビデオチャットで合同例会も開きました。

ほかの文化の人たちとコミュニケーションを取り、その文化を学ぶことは非常に大切なことであり、ロータリーを通じれば、こういったつながりを簡単に築くことができます。異文化間の対話を始め、国境を越えた関係を構築する方法の一つは、現在のプログラムを基盤としたバーチャルな国際交換を、今よりもっと行いやすくすることです。

バーチャル交換では、世界の異なる地域の人びとがつながり、自国の伝統、考え方、価値観などを紹介し合うことができます。バーチャル交換によって、世界への扉が開かれます。例えば、バーチャル料理教室、外国語の習得、グローバルなインパクトをもたらす奉仕プロジェクトの立案などを行うことができますでしょう。

これらのオンラインでの交流は、新たなつながりを作り、異なる社会を尊重する機会となります。そこで学んだ知識を取り入れ、人類のために生かしていくことが次のステップです。

これからどうなっていくかが楽しみです。